

令和5年度

学校だより

千葉市立院内小学校

後期学校評価



九曜星

発行：令和6年2月19日

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと存じます。日頃から本校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、12月上旬までに行いました「第2回 学校評価アンケート」の結果についてお知らせいたします。この結果を参考に、教育活動の改善や次年度の計画作成に努めてまいります。ご協力ありがとうございました。

千葉市立院内小学校 教育目標
『自ら考え行動し、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成』
目指す子どもの姿
「考える子【自主】」「仲よくする子【協力】」「たくましい子【元気】」
これらの教育目標を具現化するための重点目標
Ⅰ 学力づくり Ⅱ 仲間づくり Ⅲ 体力づくり

【結果の見方】
4…とても思う
3…少し思う
2…あまり思わない
1…ぜんぜん思わない
基準値＝2.5

[児童アンケートの結果]

質 問		R5 前期	R5 後期
1	学校に楽しく通っている。	3.5	3.5
2	学校のできごとをお家の人に話している。	3.3	3.2
3	学校で楽しく勉強をしている。	3.3	3.2
4	学校の勉強はよくわかる。	3.4	3.4
5	先生や友達の話をしっかりとかきとることができた。	3.5	3.5
6	自分の考えをみんなの前で発表することができた。	2.9	3.1
7	自分でめあてをたててがんばることができた。	3.3	3.1
8	お家でも勉強することができた。	3.4	3.3
9	友達と仲良くすることができた。	3.7	3.6
10	係活動などに責任をもって取り組むことができた。	3.5	3.5
11	きまり(ルール)を守って過ごすことができた。	3.5	3.4
12	先生や友達、地域の方々に進んであいさつをすることができた。	3.5	3.4
13	時間を守って生活することができた。	3.3	3.3
14	何事もあきらめずに最後まで取り組むことができた。	3.4	3.4
15	体を動かすあそびなどで、進んで体力づくりをすることができた。	3.5	3.3
16	好き嫌いをしないで、給食を食べることができた。	3.2	3.1
17	学校で困ったことがあったら、先生に話すことができた。	3.2	3.0

【考察】

全ての設問で基準点(2.5)を上回る高い評価となっています。前期と比較しては、同程度または0.1～0.2ポイントの差異となっています。「Q1、Q3、Q4」の結果から、前期に引き続き「学校に楽しく通い、意欲的に学習に取り組んでいる児童」が多いことが分かります。また、前期の課題として挙げた「Q6」の表現力が上昇傾向を示しました。これは、日々の授業実践に加えて、九曜の子発表会に向け各学年が児童の表現力の育成を図ってきた結果だと考えます。その一方で、「Q15」の体力づくりが下降傾向を示しました。冬季は屋外で体を動かす習慣が減るため、体育委員会を中心に運動を促す取組(短距離走・長縄)を計画・実践しているところです。また、「Q17」の児童理解・教育相談体制も下降傾向を示しました。児童の困り感への支援やいじめの未然防止を目的として「学校評価アンケート」や「なかよしアンケート」、「子ども面談」と時期に応じて実施しているところです。今後も、児童の適切な見取りおよび児童が安心できる相談体制づくりに努めてまいります。

【保護者アンケートの結果と考察】

質 問		R5 前期	R5 後期
1	お子さんは学校に楽しく通っていますか。	3.5	3.5
2	お子さんは学校の出来事をお家でお話しますか。	3.2	3.2
3	お子さんは学校の学習を楽しんでいますか。	3.1	3.1
4	お子さんは学年相応の「読む・書く・計算する」といった基礎的な力が身に付いていると思いますか。	3.1	3.1
5	お子さんは話を最後まで聞いて行動することができますか。	3.0	3.0
6	お子さんは家庭で、宿題をしようとする姿が見られますか。	3.2	3.1
7	お子さんは学校の友達と仲良くしていますか。	3.4	3.5
8	お子さんは登下校や生活のルールを守ることができますか。	3.4	3.4
9	お子さんは身近な人にあいさつをすることができますか。	3.2	3.1
10	お子さんは時間にけじめをつけて行動することができますか。	2.8	2.7
11	お子さんは粘り強く物事に取り組むことができますか。	2.8	2.8
12	お子さんには学年相応の体力がついていますか。	3.2	3.1
13	お子さんは好き嫌いせずに食事をとることができますか。	2.9	2.9
14	教職員は、子供の話をよく聞き、愛情をもって接していると思いますか。	3.3	3.4
15	教職員は子供の良さを認めていると思いますか。	3.3	3.4
16	教職員は、けがや病気に対する学校からの連絡や処置が適切であると思いますか。	3.4	3.4
17	教職員は、いじめの未然防止や早期発見、早期対応等に適切に対応していると思いますか。	3.1	3.1
18	教職員は、わかりやすい学習指導をしていると思いますか。	3.3	3.3
19	院内小学校は、教室の学習環境が整っていると思いますか。	3.1	3.2
20	宿題の量は適切であると思いますか。	3.1	3.0

【考察】

前期に引き続きすべての設問で基準点(2.5)を上回る高い評価となっています。前期と比較しては、同程度または 0.1 ポイントの差異がみられる結果となっています。「Q1、Q7、Q8」の結果から、「楽しく学校に通い、学校生活のルールを守りながら、友達と仲良く過ごしている」と思っていただけであることが分かります。

教育の重点目標「Ⅰ 学力づくり」に関する「Q3、Q4、Q6」は、3を上回る高い評価となっています。本年度は「学ぶ喜びを実感できる子供の育成」を学力向上宣言に掲げ、基礎基本の反復練習や ICT の効果的活用、個に応じた指導・支援を推進してきた成果だと考えます。「Ⅲ 体力づくり」に関する「Q12」も3を上回る高い評価ですが、下降傾向となりました。児童の評価同様に下がっている設問のため、教科体育を充実させ、日常から運動に親しむ態度を養うための取組を実践していきます。

一方で、「Q10. 時間にけじめをつけた行動」や「Q11. 粘り強く物事に取り組む態度」、「Q13. 食事の好き嫌い」については、前期同様に3を下回る評価となりました。月目標を意識した取組やあいさつ運動、総合的な学習での探究課題の設定、栄養教諭による食育の推進などの手立てを講じています。引き続き次年度も重点課題として捉え、手立ての実践と評価を確実に行っていきたいと考えます。

現在は、新年度を迎えるにあたり、児童の学習面・生活面のまとめを行うとともに次年度教育課程の編成に向けて協議を重ねているところです。今回いただいたアンケート結果をよりよい教育活動のために反映させていきますので、今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。